



高さ5メートルを超える三之丸の石垣

特集 いざ!国史跡指定に向けて

県指定史跡「松倉城跡」の調査を進めています

市では、平成31年度から、松倉城跡の国史跡の指定に向けた発掘調査を行っています。今回の特集では、これまでの調査で分かってきたことなどをお知らせします。



問合せ 文化財課 ☎ 35-3156

松倉城とは

松倉城は、市街地の南西、標高856・7メートルの松倉山頂につくられた戦国時代の山城です。高山盆地が一望できる場所にあり、飛驒を統治する上で重要な拠点であったと考えられています。

本丸や二之丸、三之丸の周りには石垣が残り、高いところでは約8メートルの高さがあります。

その他に城の最前線に位置して敵の監視などを行う「出丸^{でまる}」や、敵の侵入を防ぐために進入路を掘るなどしてつく「堀切^{ほりきり}」の跡などが残ることから、昭和31年に岐阜県の史跡に指定されました。